

フィデューシャリー宣言の遵守状況の振り返り

2016年8月25日

HC アセットマネジメント株式会社

代表取締役社長 森本 紀行

2015年8月21日のフィデューシャリー宣言から1年経過後の振り返りとして、遵守状況の点検結果、及び「生ける規範」としての実践のための取り組みについて、以下のとおり概要を公表します。

今後も1年を目途に定期的な振り返りを行い、その結果を公表します。

1. 遵守状況の点検結果

「利益相反の禁止」、「報酬の合理性」、「遵守態勢」に係る規範の遵守状況についての総点検を実施。規範への抵触の恐れがある行為に該当するものは一切生じておりません。

なお、具体的な事例として確認した件数は以下のとおりとなります。

- ・「利益相反の禁止」に係る事例7件
(宣言前の総点検の際に確認した事例6件、及び宣言後に確認した事例1件の再確認)
- ・「報酬の合理性」に係る事例3件
(宣言前の総点検の際に確認した事例1件、及び本振り返りの際に確認した事例2件)

2. 実践のための取組の推進

「専らに顧客のために」という視点で、役職員による自主的な創意工夫による業務運営の改善を推進するため、以下の取組を今後実施します。

(1) フィデューシャリー・デューティーの最高規範性の周知・徹底
他の社内規程への優越等の最高規範性を規程上明文化します。

(2) フィデューシャリー委員会の新設
「専らに顧客のために」という視点で、業務運営が行われているか考える場を新設します。

以上